

● 清流と遊ぼう ～小舟を浮かべて～

中神熊野神社の下にある「わさび田」を水源とする用水堀があり、長谷川邸・川島邸の裏庭を通り、奥多摩街道の下を流れ、田んぼや畑を潤し、他の用水と合流し多摩川に流れ込む用水です。江戸時代から生活用水として、洗濯や野菜を洗ったりする水として利用されてきました。現在でも近所の方々が動員して、毎年2月ごろ川さらい活動を行うなどして用水の清流を守っています。3年前この清流を利用して手作りの「小舟」を流す企画が出され「清流と遊ぼう会実行委員会」が結成されて、やっと実現しました。参加された子供会は「親和こども会」。

▶前日に用水路を整備しました



コロナ感染症の関係で広報は控えめとし、手洗い、マスク着用厳守で行いました。

7月22日(金)午前10時に会員の有志が神社下の用水に集合して、用水の清掃をして流れをチェックしました。翌23日(土)午後3時に会員が集合して準備完了。午後4時から子ども達がクレヨンや油性ペンを使って「小舟」が完成。

▶舟の作り方を説明する会員



▶ウワ〜流れて来た 流れて来た



▶どんな舟をつくらうかな



▲作った舟を流します

集まった子どもと保護者の皆さんは、約50名。用水の清流に乗せて作った小舟を流します。途中で一休みしている舟は、担当の会員が竿で流れに戻します。約1時間の「舟遊び」を皆が楽しんでくれました。来年の「第2回の小舟流し」を楽しみにしています。お世話になった皆さんにお礼申し上げます。アリガトウゴサイマシタ。

(市民会議 / 清流と遊ぼう会 /

実行委員会委員長 / 佐山 弘行)